

今、注目のローコード開発！

マイクロソフトのPower Appsを使った開発の流れを
分かりやすく実践

プロアクシアコンサルティング株式会社

Power Appsを使った開発の流れ

Power Platformとは

デモ内容ご紹介

- アプリケーションの構成
- キャンバスアプリ動きと機能追加実践
- モデル駆動
- Power BI

Power Platformとは

Power Platform とは

データの収集・解析・予測やチャットボットをローコーディングで実現するプラットフォーム

Power Automate

アプリケーション・サービスを
繋げて、ワークフローを自動化

Power Apps

ビジネスアプリをローコードで作成

Power Virtual Agents

AI を利用したチャットボットの構築

Power BI

データの整形・可視化・共有ツール



AI Builder

Dataverse

コネクタ

管理ツール

デモ内容ご紹介

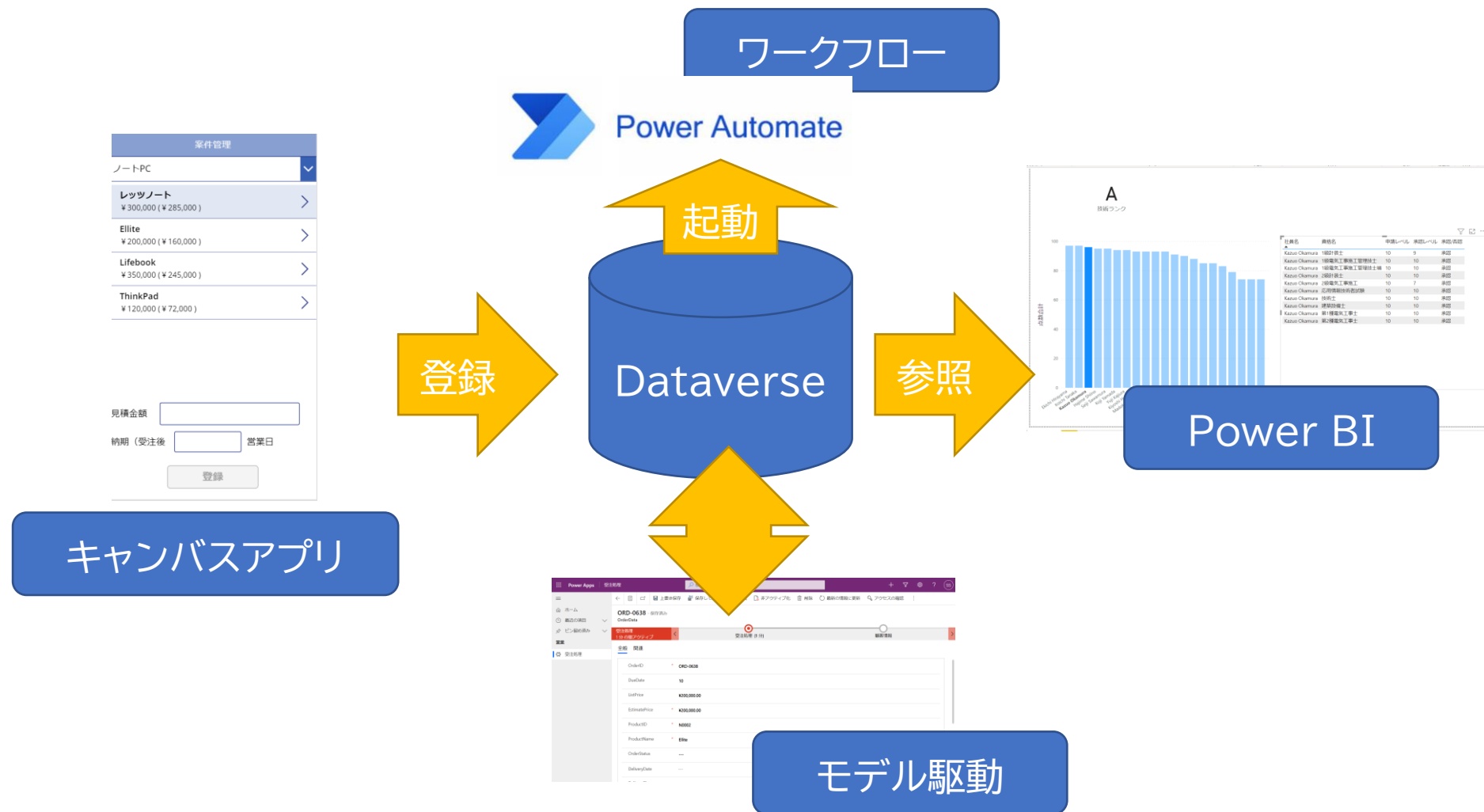
デモ内容

見積提出から受注まで

本デモアプリでは、顧客からの見積依頼を営業担当が受けた際を想定し、社内での見積金額の承認依頼、その承認、その後、受注に至った想定での受注後のステータス更新を実施します。

また、それらで蓄積されたデータをPowerBIを用いて参照します。

アプリケーション構成



デモ実施

1. 見積作成

顧客から見積依頼を受け、顧客に提出
する見積金額の社内承認を得る

※キャンバスアプリ

2. 承認ワークフロー

登録された見積金額データに関する承認ワークフロー

※Power Automate

3. 受注後

受注後のデータ更新

※モデル駆動

4. データ参照

蓄積されたデータの参照

※Power BI

ご清聴ありがとうございました